



信州大学松本キャンパスへのアクセス



■ **バスの場合**
JR松本駅「お城口(東口)」を出て右前方「アリオ」1階、松本バスターミナルのりば1「信大横田循環線」か「浅間線」で約15分、「横田信大循環線」で約35分、バス停「大学西門」下車(200円)

■ **自動車の場合**
長野道松本I.C.より、松本市街地方向(東方向)へ「中央一丁目」の交差点を右折、約200m先、「松本駅前」を左折、「市民芸術館西」の交差点を左折、約2km先、右側

■ お問い合わせ
信州大学 SHINSHU UNIVERSITY 信州大学大学院 経済・社会政策科学研究科
地域社会イニシアティブ・コース
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 ✉ k_grad@shinshu-u.ac.jp
TEL.0263-37-2304 FAX.0263-37-2346
(平日 9:00-17:00) (24時間対応)

信州大学 地域社会イニシアティブ



地域社会イニシアティブ・コース

7つの特徴

- ① 講義は 平日夜間 と 土曜日
- ② 二年間で「修士(経済学)」取得
—— 4年まで延長も可能 ——
- ③ 少人数クラスと 個別研究指導
- ④ 具体的・実践的 な講義
- ⑤ 地域づくり のためのカリキュラム
- ⑥ 多彩な人材が集まる 交流の場
- ⑦ 無理なく 学べる制度
—— 教育訓練給付金制度の指定対象 ——

地域社会イニシアティブ・コースとは

学生時代にはそれほど力を入れて勉強することなく過ごしていても、職場や地域社会のなかで生活を続けていると、「何かが違う、どうしてそうなっているのか?」と、知的好奇心や問題意識が芽生えてくる場面が数多くあります。そんなとき、どうすればいいのでしょうか?

ひとりで本を読んだり、同僚や知り合いの話を聞くことで、自分なりに納得のいく解答を得ることができれば問題ありませんが、必ずしもうまくはいかないものです。問題が複雑であれば、なおさらです。

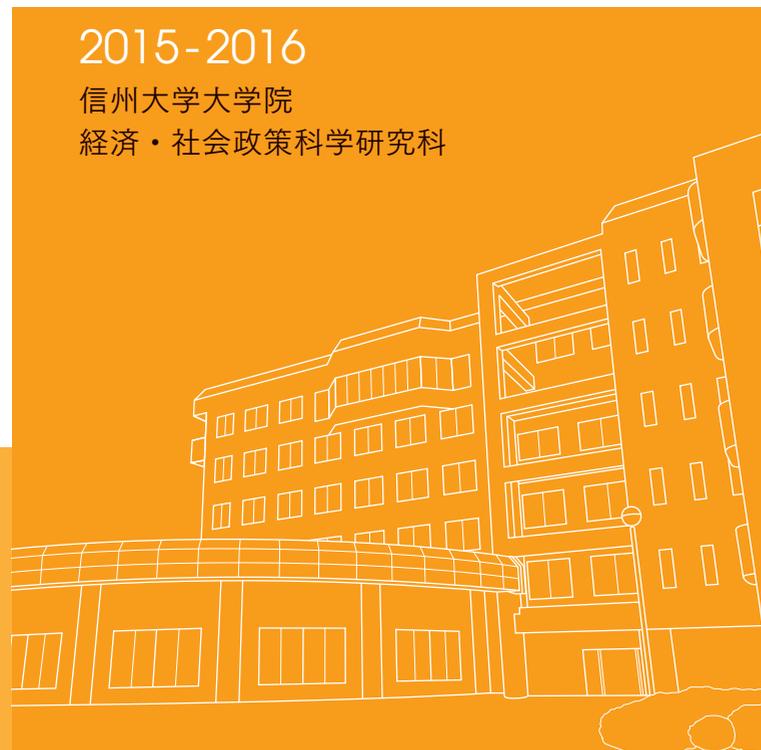


職場や地域社会は、あなた自身が日常生活を送っている(フィールド)。そのフィールドのことは誰よりも自分が一番よく知っているはず。フィールドであまたの経験を積んできたからこそ気づくことができる問題も、そこには数多くあるはず。そんな(フィールド)で培われた問題意識をお持ちの社会人のみなさまを対象に、2003年より開設した大学院—それが「地域社会イニシアティブ・コース」です。

〈地域づくり〉のための人材育成

私たちの日常生活は現在、グローバル化とローカル化という2つの新しい変化に直面しています。そうした変化のなかで、自らすすんで〈地域づくり〉に携わり、課題を的確に分析し、解決の方向性を見出すことができる人材を育成すること。これが地域社会イニシアティブ・コースの目的です。

「地域社会」とは、私たちが日常生活をおくる場、問題意識の基盤となる場であり、「イニシアティブ」とは、日常生活を変える主体的な行動力です。地域社会を構成する組織や個人が、これまで蓄えてきた知識や経験を活かし、豊かな発想力と行動力をもって〈地域づくり〉に関わることができる能力を身につけるだけでなく、自分の職場経験や地域社会について立ち止まって考えてみたい、新しい地域社会をデザインしてみたい、地域社会を考えるための場を提供したい—地域社会イニシアティブ・コースは、そんな〈地域づくり〉のためのフォーラムでもあるのです。



標準的な履修モデル

開講期間	1年次				2年次			
	前期前半 (4-5月)	前期後半 (6-7月)	後期前半 (10-11月)	後期後半 (12-1月)	前期前半 (4-5月)	前期後半 (6-7月)	後期前半 (10-11月)	後期後半 (12-1月)
土 曜	個人課題研究ワークショップⅠ (2単位)				個人課題研究ワークショップⅡ (2単位)			
	調査, 分析, 情報発信の方法Ⅰ (2単位)		地域活性化ワークショップⅠ (2単位)					
随 時			研究指導Ⅰ (2単位)	研究指導Ⅱ (2単位)	研究指導Ⅲ (2単位)*			
平日夜間	選択科目 (8科目16単位以上) —— 本学・経営大学院から4科目8単位まで取得可 ——							

※修了(最終)学期に単位認定されます。

地域社会イニシアティブ・コースのカリキュラムは、1年を4学期に分けて構成されています。修了までに30単位(15科目)以上を取得し、特定課題研究(修士学位論文)を提出し、審査に合格することが学位取得の要件となります。

推奨科目(標準8単位) — 土曜 —

履修を推奨する科目です。各科目とも、土曜日の午後に2～3コマ連続で計5～6回ほど開講されます。

- 個人課題研究ワークショップⅠ～Ⅱ
全員参加による研究発表会など
- 地域活性化ワークショップⅠ～Ⅱ
- 調査, 分析, 情報発信の方法Ⅰ～Ⅲ (Ⅱ・Ⅲは平日夜間開講)
質的調査法/数量データ分析入門など
- テーマ研究ワークショップⅠ～Ⅱ

必修科目(研究指導Ⅰ～Ⅲ 6単位) — 随時 —

1年次後期から原則として修了まで行われる研究指導は必修科目です。担当する教員による個別指導であり、必要に応じて随時行われます。

- 研究指導Ⅰ～Ⅲ

選択科目(16単位以上) — 平日夜間 —

選択科目は平日夜間に開講されます(一部の科目は夏期集中講義として開講)。講義は2コマ連続で18～21時を基本としていますが、仕事の都合等を考慮して18時30分から開始することもあります。

また、4科目8単位まで長野市にある本研究科設置のイノベーション・マネジメント専攻(経営大学院)で開講されている科目で充当することも可能です。

- 地方自治と地域社会Ⅰ～Ⅴ
地域の政治文化/規制のミクロ的基礎/地方行政システムなど
- 地域の生活と福祉Ⅰ～Ⅳ
公共プロジェクトの評価方法/地域福祉の法律問題/地域課題の国際比較など
- 地域の産業と雇用Ⅰ～Ⅳ
地域社会と情報技術/地域の産業振興と法制度/ビジネス・アカウンティングなど
- 地域の文化とスポーツⅠ～Ⅱ
地域社会とスポーツ・レジャーなど
- グローバル化時代の地域社会Ⅰ～Ⅳ
エネルギー問題と地域経済/グローバル化と政治学/地域社会の国際問題など
※開講科目・内容は年度によって異なります。



合同報告会



修了発表会



文献検索講座



院生室蔵書

【 修了生の主な研究テーマ 】

- 女たちが織りあげてきた「裂き織り」という文化
- 精神障害者の地域相談支援における市町村主体のネットワーク型支援システムの課題
- 地方都市の商業施策における商工会議所の役割
- 学習旅行誘致による中山間地域のツーリズム形成
- 長野県松本地域における日系ブラジル人の生活・教育とその支援に関する研究
- 長野県下2次医療圏における医療費格差と地域差指数
- 私立高校教育現場に根ざした国際理解教育の考察
- 分権時代の地方議会将来像の提示

【 入学生の主な職種 】

地方公務員(行政職, 専門職)/企業経営者/NPO職員/市町村議会議員/学校教職員/地域医療・福祉関係者/市民活動関係者など

入学試験案内



■ 出願資格

必ず学生募集要項をご確認ください。学生募集要項については、直接お問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

- 大学卒業かその見込みの方。(学部は不問)
- 学校教育法施行規則により、上記に準じるものと認定されたかその見込みの方。
- このほか、「出願資格審査」に合格すれば出願することができます。

■ 出願・試験日程

出願資格審査申請期間 大卒(見込み)でない方	H27.11/30～12/4
出願資格審査合格発表日	H27.12/9
障害がある方の事前相談期限	H27.12/18
出願期間	H28.1/18～1/22
試験日	H28.2/6～2/7 *
合格発表日	H28.2/10
入学手続期間	H28.2/12～2/19

※各自の面接日時は別途通知します。

■ 就学支援制度

- 2年分の授業料で長期(3～4年)履修も可能
計画的な長期在学・履修により、就学の便宜と授業料の軽減を図る制度です。
- 教育訓練給付金制度
本研究科は厚生労働大臣指定講座に指定されており、一定の条件を満たした方に教育訓練給付金が支給されます。詳細は公共職業安定所(ハローワーク)にお尋ねください。